

教養としての10年代アニメ



[教養としての10年代アニメ 下载链接1](#)

著者:町口 哲生

出版者:ポプラ社

出版时间:2017-2-9

装帧:单行本

isbn:9784591153383

受講条件は週20本の深夜アニメ視聴!?!あまりの本気(ガチ)さにネットを中心に話題となった近畿大学の講義が遂に書籍化!!

●本書の内容

教養という概念は「人格は形成されるもの」という考えと結びついている。人格を形成する役割はかつて哲学や純文学が担ってきたが、ゼロ年代(2000~09年)になると、若者に対するポップカルチャーの影響は無視できないものとなった。本書では、「10年代アニメ」(2010年代に放映されたアニメ)を、教養として分析することで現代社会や若者についての理解を深めていく。

●装画イラスト

『COPPELION』の井上智徳先生、渾身の書き下ろし!!

●本書の構成

<はじめに>

インフォテインメントとしてのアニメ/ホーリズムとしての一〇年代アニメ等

<第1部 自己と他者>

第1章『魔法少女まどか☆マギカ』他者との自己同一化

ゼロ年代アニメの総決算/『ファウスト』からの引用と変更点/可能世界/イヌカレー空間/絶望少女もの等

第2章『中二病でも恋がしたい!』自意識と他者の存在

『氷菓』における掟破り/『響け!ユーフォニアム』の新基軸/『中二病でも恋がしたい!』はラブコメか/ゴシック精神と中二病等

第3章『やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。』スクールカーストとぼっち

残念系/空気を読む/意識高い系/ライトノベルが描くリアリズム等

<第2部 ゲームの世界>

第4章『ノーゲーム・ノーライフ』ゲーム理論と社会適応

ファンタジーの世界/『ノゲノラ』とゲーム理論/コミュニケーション障と引きこもり等

第5章『ソードアート・オンライン』オンラインゲームと一人称視点

浮遊城と世界樹/ナーヴギアの実現可能性/一人称視点/メタ・オリエンタリズム等

<第3部 未来社会の行方>

第6章『とある科学の超電磁砲』クローン技術とスマートシティ

ヒトクローン個体/学園都市/スマートシティ/超監視社会 等

第7章『COPPELION』生き残りとリスク社会

遺伝子操作/コラテラル・ダメージ/リスク社会/ハードサヴァイヴ系/太陽の塔が意味するもの 等

<おわりに>

世間内存在としてのオタク/メタ視点を欠いた再帰性 等

●著者プロフィール

文芸評論家。専門は哲学・現代思想。近畿大学では映像・芸術基礎、映像・芸術論、現代の社会論を教えている。

作者介绍:

目录:

[教養としての10年代アニメ_ダウンロード1](#)

标签

博

サブカルチャー

评论

对人篇论述有点浅，显得基础介绍成分太多，一度看不下去。媒介篇与社会篇稍好一些。最后对宅的反思值得一看。

结语对缺乏自省再归性的讨论蛮有意思的

[教養としての10年代アニメ 下载链接1](#)

书评

[教養としての10年代アニメ 下载链接1](#)